

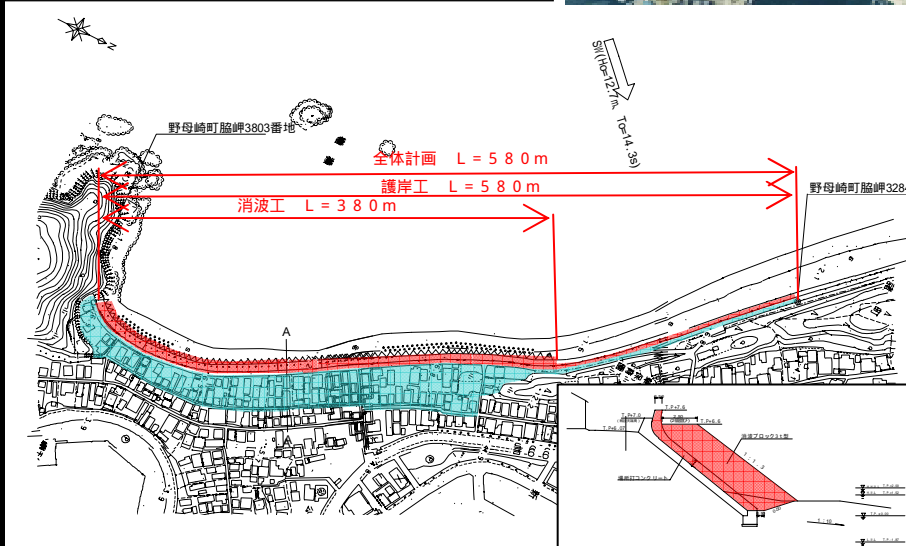
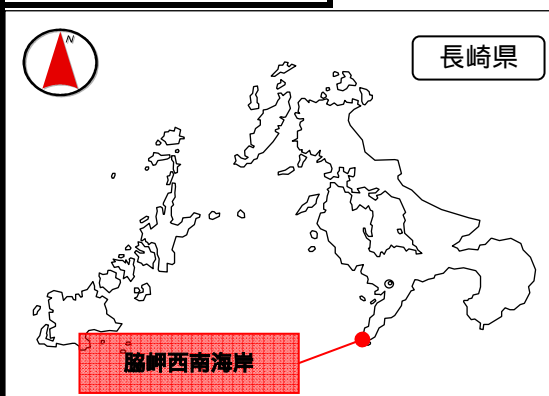
脇岬西南海岸老朽化対策緊急事業 ～越波被害の防止及び老朽化対策～

1. 事業概要

脇岬西南海岸は、橘湾に面する長崎半島の最南端に位置し、背後地は低地であって国道499号、市道が並走し人家が密集している。
 当海岸は築造より約50年が経過しており、老朽化が進んでいる。
 また、台風の常襲地帯でもあり、消波施設がないことから、台風接近の度に高潮被害に苛まれている。
 特に、H3.9の台風19号では高波により越波し、人家等に被害をもたらした。
 このように、地域住民の生命・財産の安全を脅かしていることから、平成22年から平成24年度において護岸工・消波工の整備を行い、連続した越波防止機能を持たせることにより、民生の安定を図る。

場所	長崎市脇岬町	諸元	護岸工 L=580m 消波工 L=380m	事業費	22年度	3.0億円
事業着手	平成22年度	完成予定	平成24年度		全体	6.7億円

位置図・平面図・写真等



2. 整備効果

- ・台風時の越波被害から背後地の生命・財産を防護する。
- ・老朽化した海岸保全施設の機能を確保する。

3. 平成22年度の事業内容

護岸工 L=190m 消波工 L=190m